

# 大きな青空と広い草原で ＜大地の学校＞2020

## 第32回 夏の短期教室 参加案内

人は生き方を学びながら人生を歩みます。＜大地の学校＞は、北海道の牧場を拠点に生活から学ぶ場として'86年から開催しています。知育過剰の社会にあって、緑の大地での生活は子供たちに豊かな情操を育む一助になるでしょう。この短期教室は、その入門編として自然体験の楽しさを知ることと＜大地の学校＞ならではの生活教育に重点を置いています。

### 募 集 要 項

- ◆ 期 間
  - ・ 1組：8月2日～8月9日（7泊8日）
  - ・ 2組：8月9日～8月16日（7泊8日）
- ◆ 集 合
  - ・ 1組：8月2日
  - ・ 2組：8月9日
- ◆ 解 散
  - ・ 1組：8月9日
  - ・ 2組：8月16日
- ◆ 対 象 小学生～高校生の男女 1組2組とも各10人程度
- ◆ 開催地 北海道上士幌町＜大地の学校＞を拠点に道内数ヶ所
- ◆ 内 容 ＜大地の学校＞での生活を基本に次の活動を行います。ただし、仕事に関しては参加者の年齢や適性を見て割当てるので以下の全部のことをするではありません。また、スケジュールに追われるのではなく、せっかく広い北海道に来たのだから、ゆとりを持って活動させたいと思っています。

\* 生活体験 — 食事準備、片付け、掃除、洗たく干しなど生活管理は出来るだけ高学年を中心に参加者で分担。

\* 野外活動 — キャンプ／釣り／ハイキング

・ 川遊び：＜大地＞の近くには、きれいな溪流がいたるところにあり、そこで釣りや水遊びをします。

・ 水 泳：北海道でも比較的暖かい日本海側の海辺に宿舎があり、毎日海水浴や釣りに出かける。

\* 牧場体験 — 羊・ヤギ・犬・猫・ウサギなどの動物が居る。  
エサやり・畜舎掃除などの世話をします。



## ．．．． 参 加 説 明 と 注 意 点 ．．．．

- ★集 合 集合点呼は帯広空港で行いますので、出発は各家庭で随時手続き下さい。  
小学生の場合は、空港カウンターには少なくとも1時間は早めに行って『子どもサポートを申し込みます』と言って下さい。  
なお、中学生高校生はサポートサービスの対象外です。  
簡単な手続きの後、指定された時間になれば職員が子供だけを機内に引率し、その後帯広空港到着時に出迎えている私に引き合わせをして頂けます。  
長い短期教室の歴史の中で、このことでトラブルが有った事は無いので初めての方もご安心を。  
なお、帯広到着後には昼食の時間がないので、昼食は弁当持参の上機内で食べておくようにさせて下さい。  
道内からの参加者も、原則としては帯広空港での集合解散ですが、帯広駅付近でも設けますので別途お知らせします。
- ★解 散 集合時と同じく、子どもサポート制度で乗せますので、各空港での出迎えをお願いします。
- ★宿 舎 <大地>での施設をベースとし、山や海でのキャンプではテントと屋内施設を使い分け、体力に無理のないように組んでいます。
- ★生 活 <大地の学校>は、常に農村留學生が生活し、また年間を通じて青年男女も数多く訪れます。そのため、ここでは皆が気持ちよく生活するための取り決め事が有ります。他の人と共に生活する事を学べるでしょう。
- ★健 康 各種アレルギーや持病のある子については、急に発作が出たときの対応で必要なので保護者は必ず申し出て下さい。  
特定の薬剤などを使用している場合も、必ず事前にお知らせ下さい。
- ★所持金 期間中の活動と生活に必要な費用は、参加費に全て含まれています。「持ち物」に書いてある「病気時治療に関する費用」以外の余分なお金は持たさない様にして下さい。おみやげの購入も禁止です。素晴らしい思い出が、おみやげになるのですから。
- ★持ち物
- ・ 病気時用治療費（念のために1万円を、名前を書いた封筒に入れて下さい）
  - ・ 着替え（3～4着分でよい）
  - ・ タオル
  - ・ バスタオル2枚
  - ・ ハブラシ
  - ・ 健康保険証（コピーで可）
  - ・ ゴム長靴（仕事に使う）
  - ・ 予備の運動靴（川歩きで濡れる為）
  - ・ 水遊び用サンダル（クロックスなど、かかとが脱げにくいようにベルトが付いたタイプに限る）
  - ・ ジャージかトレーナー（上下とも）
  - ・ 水着
  - ・ 水泳帽
  - ・ 水中ゴーグル
  - ・ 帽子（野球帽のようなキャップ型のもの。麦わら帽はだめ）
  - ・ ナップザック（外出時に使うので小サイズの物を）
  - ・ ジャンパー（本州での冬用を1着必ず）
  - ・ 長袖の服1着（長袖のセーター類を。昼は本州と変わらぬ暑さだが、キャンプでの夜は10度以下になることも）
- \* 現金など貴重品は、当方郵送の指定袋に入れて持たせて下さい。集合時に預かり

ます。

- \* 持ち物には、必ずマジックで名前を記入のこと！！（特に下着も含めた衣類！）
- \* 体の小さい子の持ち物は、手提げ式のカバンにせずリュックに入れて下さい。
- \* 寝袋などキャンプ用品、仕事用作業衣や道具は、用意しているので持参無用です。
- \* 女子の場合、期間中スカートは着用禁止。 野外活動に相応しい姿を。
- \* 携帯電話／携帯ゲーム／音楽カセットCD／カメラ（使いきりカメラも含む）などは全て持込禁止です。
- \* 野球グローブを持っている人は持込可です。バットとボールは有るので不要です。
- \* 海水浴でのシュノーケルは危険なので持込禁止です。浮き輪は有ります。

#### ★荷物の 発送

高学年の子は、荷物はなるべく自分で持たせましょう。  
遠いところへの一人旅は、苦勞のさせどころですよ。  
低学年は(高学年でも)、持つのには負担が大き過ぎる場合は宅急便で送って下さい。  
なお、荷物の発送の場合は、次の点で注意して下さい。

- \* 送る荷物も必ずリュックやバッグに詰める。  
ダンボール箱は使わないで下さい。  
期間中は移動があるので持ち運びに困ります。  
大きくて重いので海外旅行用のスーツケースもダメです。
- \* 発送に際しては注意点が他にもありますので、別途メールでのお知らせを必ずお読み下さい。



#### キャンセルの規定

各組集合日の14日前までに参加キャンセルの連絡を受けた場合は、頂いている参加費の半額をお返しします。それ以後の場合は、お返し出来ませんのでご了承願います。

#### 参加取消しの規定

参加者について以下のような場合は、参加を取り消し実家に帰って頂きます。この場合、参加費は全額お返し出来ませんので予めご了承願います。

- 一、派手な毛染め・化粧・ピアス・マニキュアなど<大地>に相応しくない身なりの時。
- 二、<大地>の運営上差し障りのある行動を、注意しても止めない時。



\*\*\*\*\*

＞ 期間中に宿題をすることはできますか？

→<大地>で過ごす日は、毎日自由時間があるので、そのときにやれます。でも、本人がやるか否かの保証までは・・・。なお、キャンプに出る時は、勉強道具は置いておくようにします。でも、どうでしょうかね。めったに経験できないこんな機会に、宿題で時間を使ったらもったいないと思いますよ。(^^;)

\*\*\*\*\*

＞ 携帯ゲームやマンガを行っても良いですか？

→コンピューターゲームやマンガはもちろん、小説などの図書も持ち込み禁止。夏の北海道に来て読書してたら時間ももったいない。期間中は広い所ばかりです。こういう時は外遊びに仕向けましょう。野球グローブはオーケー。野球・サッカーやバレーのボールは備えてます。

\*\*\*\*\*

＞ 「こんな子は参加するのに不向きですよ」とかありましたら教えて下さい。

→発作が起きたら直ぐに医者にかからねばならないような病気を持っている子の場合は、申し訳ないのですが遠慮して頂いています。よくあるのですが「我がままです」とか「集団が苦手です」という子の場合は、気にする必要はありません。人生勉強の場です。大いに歓迎しますよ。

---

＞ 持ち物の件ですが、必要なモノを、ひとまとめに、しますと、身長 130 センチ前後の小学生には、ランドセルの 3 倍？になり、とても、背負えそうにないのですが

→せっかくこういう機会を子どもに与えるのですから、出来るだけ自立への道を実感できるようにさせるのが愛というものですよね。だから荷物も自分で背負わすのが基本だけども、しかし、あくまでもこれは視点としての話し。中高生ならこの基本どおりでしょう。でも小学生で小さい子なら、体に合った程度（ちょっとだけきついなあ、というくらいが程よい試練かな？）を持たせて、あとは宅急便で送って下さっても良いですよ。

帰日も、同じようにしますから、必ずクロネコの「往復宅急便」の扱いにして下さい。

\*\*\*\*\*

＞ 動物アレルギーなので動物に近寄れません。意欲はあるのですが出来ないのですが。

→動物や花粉など各アレルギーの子には、それぞれの出来る範囲の活動を考えます。

\*\*\*\*\*

＞ 女子ですが、生理痛や量が多い日は休んでいられるのでしょうか？

→<大地>の女性たちが、その時々体調に合わせた対応を取るので安心して下さい。なお、別件ですが、環境が変わって初潮を迎えることがあるようです。こちらでも対応は準備していますが、その可能性の有る子の場合は、事前の説明はしておいて下さいね。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

＞ 雨具の記載がありませんが、傘やカッパ、ザックカバーは要りませんか？

→雨具は不要です。北海道は夏でも雨天時は寒いのです。短い短期教室期間に病気で寝込んでほもったいないので、原則として雨の中での野外活動は行いません。

\*\*\*\*\*

＞ 毎日日記を書くという事ですが、その日記を自分のノートに書いてもいいですか？（夏休みの宿題の、レポートとして学校に提出したいので。）

→こちらで用意した日記用紙があるので、それに書いてもらいます。最後の日に各自の書いた分を渡すので、それを宿題用に使って下さい。

\*\*\*\*\*

＞ 思う様にそちらで過ごせずに途中でリタイヤとかになる場合はどうなるのですか？

→毎回、1人くらいはホームシックで泣く子がいます。早い子は1日目の夕方ですね。この手の子は、基本的にほっときます。かまってくれる親が居ないことがわかれば、そのうちに泣き止んで輪に入ってきますから。20年以上になる短期教室の長い歴史ですが、小学生で途中リタイヤさせた子は居ません。（中学生や高校生で帰らせた子は時々居ますが・・・）大きくなってホームシックになる場合の方が問題が大きいように思えます。可愛い子には旅をさせよ、っていうような意味が含まれていますね。

.....

## ・ ・ ・ ・ 初めて〈大地の学校〉に応募する方へ ・ ・ ・ ・

〈大地の学校〉とは 1952 年大阪に生まれ育った私、森田が 86 年から北海道で開いている農村生活を体験するための私塾です。都会で生まれ育った青少年が、農村での仕事や暮らしを体験し、その中から、これからの人生の糧になるものが有ればと思い開いて来ました。

都市に生まれ育った人の中に、自然に囲まれた生活に憧れる人が増えています。ファミコンの世界でしか遊べぬ子供。詰め込み教育、知育一辺倒の学校に満足出来ぬ青少年。ギスギスした都会での仕事や生活に、充実を感じられない若者。テレビをつければ「ムツゴロウ王国」や「北の国から」に感動する。何となく、自分の本当の欲求は、こういう世界の方にあるのでは……という予感。しかし、都会育ちにとって、自然体験とはレジャーのことであり、農村は風景としてしか映らない。自分の人生とは縁のない、別世界のことと思える。なにしろ、学校ではコンクリート社会の中で生きる道しか、学んで来なかったのだから。憧れはいつまでも憧れのままで、悶々とした日々を送り続ける。

そのような若者に、自分の五感で持って自然と向き合う生活の場を提起したい。土にまみれ、家畜に触れ、人に出会う。世の中、大地の上で生きる道もある。そんなことを学ぶ学校があってもいいじゃないか。〈大地の学校〉は、私のこんな想いの中から始まった『もう一つの』学校です。

〈大地の学校〉の歩み今まで主とした活動は、夏休みや冬休みの時期に 1～2 週間の短期教室を開催。1986 年夏に第 1 回を開いてから現在まで既に 800 人以上の青少年が参加しました。

93 年には私の住所を、それまでの大阪から北海道に移し、より幅広い活動を展開する態勢を取りました。そして 95 年 4 月からは、森田家での生活を基本にした小学生の 1 年単位での通年農村留学を開始し、現在は中学生や高校生の留学も行っています。

この説明書は、夏の短期教室の説明ですが、農村留学など他の企画については別途お問い合わせ下さい。

### ★ 保護者の皆さんへ ★

〈大地の学校〉とは、森田一家を基本とした極めて私的な生活圏に、他者の子どもを受入れて成り立っている場です。我々夫婦は、農村留学であれ短期教室であれ、家庭の中に親戚の子を預かる気持ちで精一杯取り組んでいます。そのことで保護者から頂く好評が開始以来 20 年を越える実績を支えているものと自負しております。

しかし〈大地の学校〉は、あくまでも森田夫婦の個人的活動であることを踏まえて頂きたいと思えます。あたかも多くのスタッフを抱える企業や団体に対するように、私どもに過大とも思えるサービスを求める保護者がたまに居られます。短期教室には、教員を目指す若者がスタッフとして手伝ってくれますが、それはあくまでも教育実習として受け入れています。私どもは近所付き合いのように、個人関係の延長で他者の子どもさんを預かっているつもりです。このことに不安や不信を持たれる方は〈大地の学校〉に応募されないようお願いします。

〈大地の学校〉では、今まで大した事故も無くやって来ていますが、子どもたちに大自然のワイルドな体験をさせようとするなら、常に危険も隣り合わせに在ると考えなければなりません。もちろん、有ってはならない事ですが、万が一の事態の保証は参加者に掛けている障害保険の範囲内に限らせて頂くようご了承下さい。

大地の学校 全景



<大地の学校> 森田真礼夫

〒080-1406 北海道河東郡上士幌町居辺964番地

<携帯>090-4870-2108

<TEL>01564-2-3354